

平成 24 年度 総合問題 (第二部 商経学科) 解答例

問 1 (40 点)

【採点のポイント】

- ・鈍感・敏感の意味をきちんととらえているのか。
- ・人間関係の場面であることが明示, 又は暗示されているのか。

【解答例】

敏感力

人間関係において、あまり相手のことを知らない場合、相手の態度や振る舞いに目を配り、相手が今何を考え、何を求めているかなど、好き嫌いの傾向や趣味などをなるべく早く見抜き、それに応じて、自分の態度や行動を調整する力のことである。

鈍感力

人間関係において、相手が自分に合わせた行動ができなかったときや、あえてそうしなかったときに、それにいちいち目くじらを立てて不満を持ったり、怒ったりしないことができる力のことである。人間関係を維持したいと思った場合は、小さなことには、なるべくこだわらないでいたほうがよい。

問 2 (30 点)

【解答例】

「敏感力」を生かす場合は、わりと簡単である。相手をよく観察し、その人にとって仕事がしやすい環境を作り出したり、学校でいえば、なるべく居心地がよいように相手をするのである。しかし、「敏感力」ばかり発揮していると、自分も疲れてしまう。そこで、たいしたことではないこと、相手に譲ってもかまわないことはなるべく目をつぶる「鈍感力」が必要であり、相手にもそれを発揮してもらうようにすることが大切である。それでも、本質的なところである、相手との人間関係を維持したいのかどうかというところが大切であり、これを軸にして「敏感力」「鈍感力」を発揮しなければならない。

問 3 (10 点)

【解答】

和食党

問4 (10点)

【解答】

Japanese delicious

問5 (10点)

【解答】 ウ